

## 市長と地域の懇談会【神社】

・開催日時	令和2年11月30日（月） 19:00～20:00
・まちづくり協議会区域名	神社地区まちづくり協議会
・会場	神社小学校特別棟2階図工室
・参加者数	17人

### 1. 小学校の統廃合関連について（神社小学校、大湊小学校）

#### 《回答》

- ・まちづくり協議会のエリアは地域によって、いろいろなケースがある。
- ・10年近く経過してきたので、もう一度見直していくことが大事だと思っている。
- ・まち協の皆様と意見を重ねながら今後の方針を考えていくことが大事だと思っている。
- ・地域で意見をまとめてもらえると非常に有り難い。

#### 《回答》

- ・令和2年度の小木町から通学する児童は、神社小より有緝小の方が多い。
- ・このことは大事なポイントであると思っている。
- ・みなと小への通学で子どもたちの安全確保は、スクールタクシーを考えている。
- ・現時点では校区の変更は考えていない。
- ・有緝小へ通学する児童が多くなっているため、教育委員会の方で議論していかなければならないと考えている。

#### 《回答》

- ・神社小は、この地域の避難所として大事な役割がある。
- ・校舎を使わないと朽ちるのが早い。地域と使い方を考えていくことが大事。
- ・平時の活用の仕方と緊急時の防災活用の仕方を地元の皆さんとしっかりと議論させていただきたいと思う。
- ・体育館は、残すか撤去するかについては、庁内で方針を考えていく。ただ、みんながスポーツなどで使っているため簡単には撤去できないと感じている。

#### 《回答》

- ・幼稚園は、防衛省の補助を受けて建設しているため、利活用については防衛省の一定の枠組みがある。どのように活用できるか調整中である。

#### 《回答》

- ・下野公民館辺りからみなと小学校の通学路について、6月に測量、7月に設計を発注、10月に境界立会を行った。今後、道路整備を地域と協議しながら進めていく。
- ・下野町から馬瀬町周辺、大湊町で車通りの多いところがたくさんある。随時出来るところはやっていきたいと思っている。

#### 《質問・意見》

- ・学区の変更は、考えていないという回答であったが、新入児童の大半が厚生小学校と有

緝小学校へ入学する。中には、迷っている人もいるが、学区については子どもたちのことを考えてやってほしいと思う。学区と併せてまちづくり協議会の区域と民生委員のエリアについても検討していただきたい。

《回答》

- ・学区については市の検討になるが、まち協の区域については応相談になる。規約の変更や地域としてもこのままでいいという話とセットになってくると思う。

《質問・意見》

- ・通学路の安全確保の要望⑤と質問⑥について、出来る範囲でやっていきたいとの回答であったが、前向きに進めているとの理解でいいですか。

《回答》

- ・馬瀬町や下野町の自治会からも話を聞いている。馬瀬町からの5か所くらいの要望のうち、いろいろと相談した結果3カ所くらい実施する予定。下野町の箇所も実施する予定。

《質問・意見》

- ・下野町からの新小学校への通学路は、道路幅を4m、歩道1.5m以上の要望を当初させてもらった。また、中学生の通学路で5時前になると暗くなる。照明はついているが、照明だけではなく防犯カメラの設置も要望した。要望した箇所は痴漢被害があった。小学校周辺は、中学生が帰る頃は暗くなっているので照明と防犯カメラの設置をお願いした。要望は口頭で伝えたが、その時に検討するとの回答をもらった。具体的にどのようなのか。

《回答》

- ・みなと小学校の通学路含めた交通安全関係については、いろんな要望があると思うので、整理をして示すこととする。

《質問・意見》

- ・統廃合で神社小学校が廃校になるが、校舎は4月以降も防災として使えるのか。

《回答》

- ・基本そうなる。

《質問・意見》

- ・神社幼稚園を第2神社公民館として利活用したい件で、防衛省補助の関係があるとのことだが、具体的な回答がもらえるのはいつ頃なのかを教えてほしい。

《回答》

- ・担当課に確認する。

## 2. 防災対策活動推進のための支援（共通）

《回答》

- ・ これからも地域の防災訓練などサポートさせてもらう。

#### 《質問・意見》

- ・ 神社港に防潮堤が 20 箇所くらいある。うち 6 箇所が普段から開いている。台風であれば予測がつくので閉めに行けるが、津波時には恐らく対応できない。アンケートも取った結果、町内の要望としては施錠して閉めておいて、使用するときだけ開けられるようにすればという要望がある。市としての考えは。

#### 《回答》

- ・ 管理は県になるので、町として意見がまとまっているのであれば、要望書を出してもらいたい。話し合う場所をつくっていくことが大事。その要望書を県に持って行き、一緒に相談させてもらえる。

#### 《質問・意見》

- ・ 内田造船のあたりに防潮堤がない。そのようなところが 2,3 か所ある。大湊になるが厚い木でしてあるところがある。一度現場を見てもらったら分かると思う。

#### 《回答》

- ・ 分かりました。

### 3. 釜屋排水機場(港中学体育館横)の自動化計画について(竹ヶ鼻町)

#### 《回答》

- ・ 本ポンプ場の老朽化が進んでいることと、馬瀬第 1、第 2 のポンプ場にて強制排水することを含めて検討している。
- ・ 本ポンプ場を閉鎖してもきちんと排水できるか検討しているので、お時間をいただきたい。

#### 《質問・意見》

- ・ 釜屋排水機場は、水路から集まった水を一旦タンクに貯水して、それを一気に吐き出すのでタンクの中がすぐに空になり、その都度、立ち上げなければならない。また、その場所はゴミも多いのでかき集めている間にポンプが止まってしまう。自動化されていれば、その都度立ち上げることもなく、ポンプが止まることもないと思う。

#### 《回答》

- ・ 排水を違う方向に流すことの検討を早めるようにする。

#### 《質問・意見》

- ・ 船倉排水機場は、小木川が浅くなっている。なかなか水を掻き出せない。一日経っても掻き出せない状況にあった時は田尻町の道路が冠水した。川の浚渫が必要だと思う。

#### 《回答》

- ・ 分かりました。

#### 《質問・意見》

・下野町にもポンプ場があり、樋門も2箇所ある。以前に聞いた話では、ポンプ場の自動化を市にお願いしたとき、ゴミを上げなくてはならないので出来ないと言われたようだ。大雨のときにはポンプを夜中に動かすに行くこともある。担当も高齢になっているので自動化になれば有り難い。また、防潮扉を閉めることについても、これまで開いていた扉を閉められるのか、港なのに常時閉めることがいいのかという問題もある。今後、防潮扉の開閉についてどうしていくのかがあれば教えてほしい。

#### 《回答》

・堤防の全体的な考え方の見直し時期にきている。他の地域でも防潮扉を閉める大変さを聞いているので、県とも相談していく。

### 4. 新型コロナウイルス対策について（小木町）

#### 《回答》

・PCR検査を受けた方がいいかの判断は、2つの方法がある。  
1) 伊勢保健所へ相談（PCR検査を受けた方がいいかのアドバイスをくれる。）  
2) かかりつけ医に受診して、検査が必要かどうか判断してもらう。  
・かかりつけ医で検査が必要と判断されたら、検査ができるようになっている。  
・検査を月・木曜日に伊勢地区検査センターでやっている。検査が増加すれば検査体制を増やしていきたいと考えている。

#### 《質問・意見》

・市長が回答したPCR検査に関することは、広報いせに掲載されているのか。

#### 《回答》

・掲載している。ただ、毎回は掲載していないかもしれないので、掲載するようにする。伊勢病院に感染症の詳しい新しい医師が来ている。前号からその医師によるコロナなどのQ&Aコーナーをつくったので、そこへ毎掲載せるようにする。

#### 《質問・意見》

・PCR検査に費用はかかるのか。

#### 《回答》

・検査費用は公費となり自己負担はないが、医者にかかってもらうので保険適用の初診料は自己負担となる。

### 5. 下野地区における宅地、農地共存について（下野町）

#### 《質問・意見》

・駐在から住民より百姓が道に泥を落としているという苦情があったので、泥を落とさないように周知してほしいとの話があった。昔は泥を付けたままトラクターを走らせていたが、今は泥を落としてから走っている。ただ、それでも泥は落ちる。そのことが一般の人には泥を落として走っているとなる。また、用水も家が建ってくるとグレーチングで蓋をしてボルトを締める。そうすると掃除ができない。  
・このように農地と宅地が混在している地域のなかで、市はどのような立ち位置で考えて

いるのか教えてほしい。

《回答》

- ・難しい問題である。お互いがどのように共存していくか理解し合うことが大事だと思う。また、状況をその都度教えてもらえたらと思う。

6. 協議会への市職員の積極的な参加について（共通）

《回答》

- ・民生委員や自治会の関係で各地域に影響が出てきていることを聞いている。
- ・市職員や企業、企業を定年退職される方などにアプローチしていきたいと思っている。
- ・即決できる課題ではないが、地域の担い手になってもらえるように研修会や講演を増やしていきたいと思っている。

7. その他

《質問・意見》

- ・馬瀬のポンプ場は、大雨警報が出るとポンプ場の開設を言われて、出ていかななくてはならない。担当も高齢になってきている。市の担当者1人でも参加してもらえるようお願いしたい。

《回答》

- ・検討材料とさせてもらおう。他地区でもポンプ場や防潮水門の話がでているので、将来的にどうしていくべきか、他県の事例も調べて今後の方向性について検討させてもらおう。

《質問・意見》

- ・小木町の学区について教育委員会で議論してもらおうことはいいのだが当面はどうするのか。小木町の子どもたちの大半は有緝小へ通学している。小木町から有緝小への通学路の管理や安全面については、現時点では町としてノーマークである。通学路の見守りは保護者が自主的にやっている。町としてはあまり関与していない。町としての有緝小への通学路の見守りについて、市からの意見（考え）が欲しいのと今後の学区見直しについて、どこに相談に行けばよいのか。

《回答》

- ・学区の見直しの相談窓口は、教育委員会の学校教育課になる。質問の件は、明日連絡させるようにする。

《質問・意見》

- ・小学校区としては大湊町と一緒にするが、まちづくり協議会は別々の運営と考えていいのか。交通安全のエリアも見直していかなくてはならないので。

《回答》

- ・時期も押し迫っているので別々で運営しながら、今後どうしていくか話しをしていくことになると思う。防災、防犯に関してもエリアが広がる。